

## 経済イソップ物語～動物園の巻～

飼育係：「最近ではエサ代が増えて経営が苦しいな。ザイセイアカジだよ。」

ライオン：「飼育係さん、もうみんなセイチョウして子供じゃないんだから、自分のエサは自分で獲るようにしましょうよ。檻おりの扉を全部開けちゃいましょう。」

飼育係：「そんな事したら、お前たちが小さな動物を全部食べちゃうじゃないか。」

ライオン：「大丈夫ですよ。みんな自分の身は自分で守りますよ。ジユウキョウソウやシジョウケイザイが最も効率的って、人間の世界でも言うじゃないですか。」

飼育係：「英国のサッチャー動物園が、最初にやったっていうのは聞いたことあるな。エサ代も削減できるし、試しにやってみようか。」

さて動物園の、すべての檻の扉が開かれました。ライオンは長くテイセイチョウが続いてお腹がペコペコだったので、どんどん小動物たちを襲って食べ始めました。

飼育係：「あれは何だ？ 草食のはずの象が動物を食べてるぞ。」

ライオン：「ああ、あれはミンエイカ象って言うんですよ。以前は心優しくて草食だったんですが、彼らも自分で生きていけないといけませんから仕方ないんですよ。」

飼育係：「確かに以前と比べるとずいぶんスリムになってるな。でも君たちライオンは、ガッペイやM&Aでますます大きく強くなってるじゃないか。」

ライオン：「外国のライオンとのキョウソウもあるし、強くないと生き残れないんですよ。」

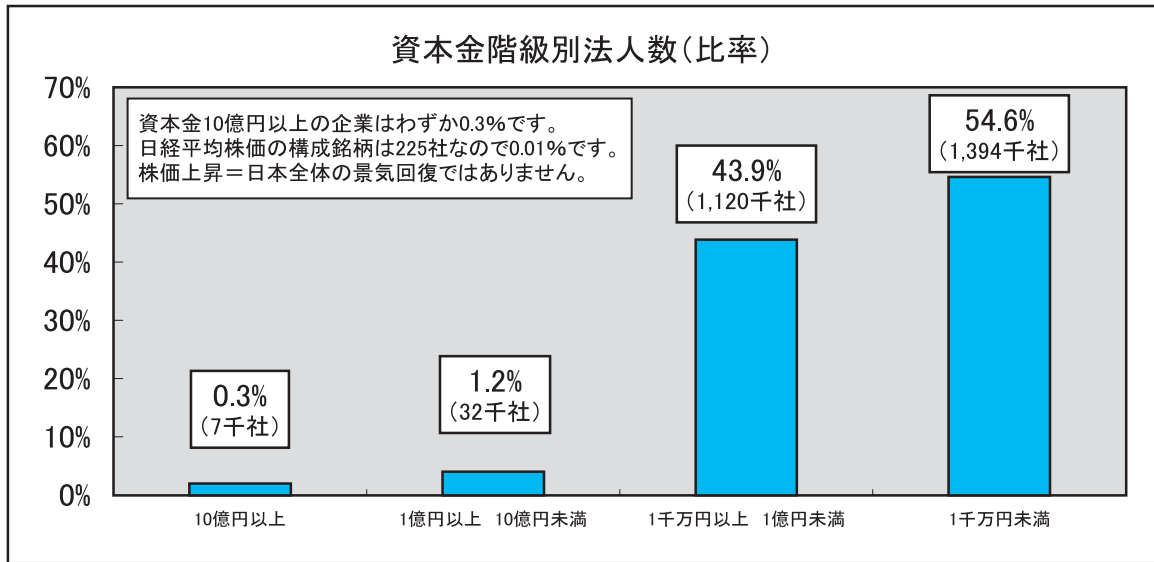
飼育係：「しかし、君たち強い動物がエサを獲り過ぎるので小さな動物たちが困ってるぞ。自分が食べきれないくらい獲って、カブヌシとかいう人に配ってるらしいな。」

ライオン：「我々ライオンもカブヌシには弱くて、カンゲンしないと怒られるんです。」

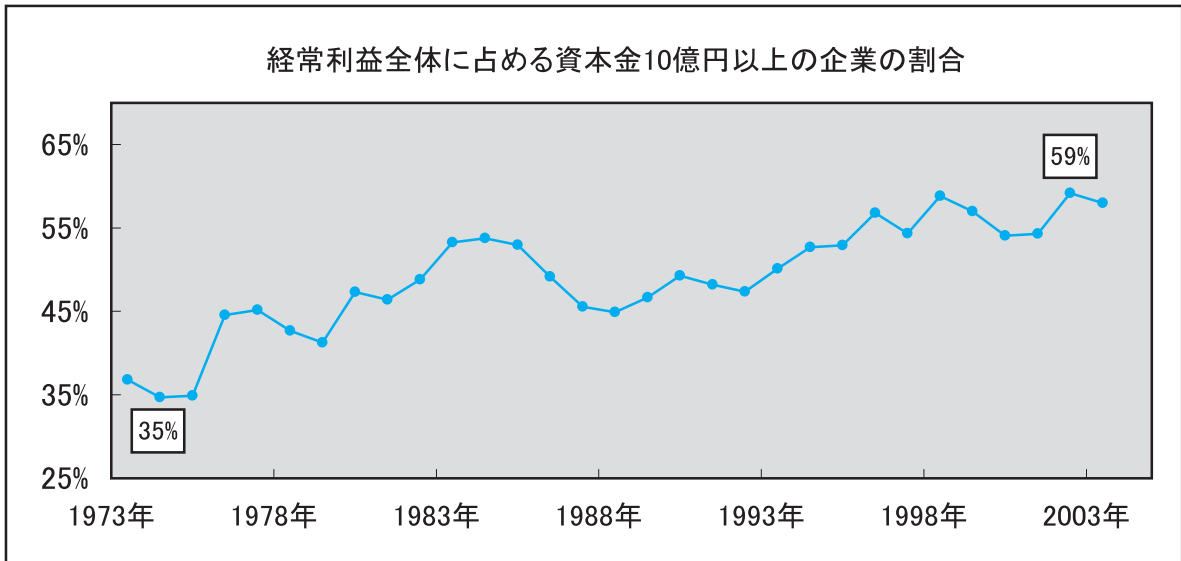
飼育係は悩み始めました。

飼育係：「うーん、みんな大変そうだな。ライオンは動物園の顔だから意見は尊重しないといけないけど、小さくてもユニークな動物もたくさんいる。数ではそちらの方が圧倒的に多いし、お客さんもライオンだけを見に来るわけじゃないからな。今まで、動物たちに自由にやらせてきたけど、僕がライオンからエサを分けてもらって、みんなにサイブンパイしよう。ライオンだって、自分たちだけじゃ生きていけないんだから。檻の扉も全部閉めてしまうぞ。」

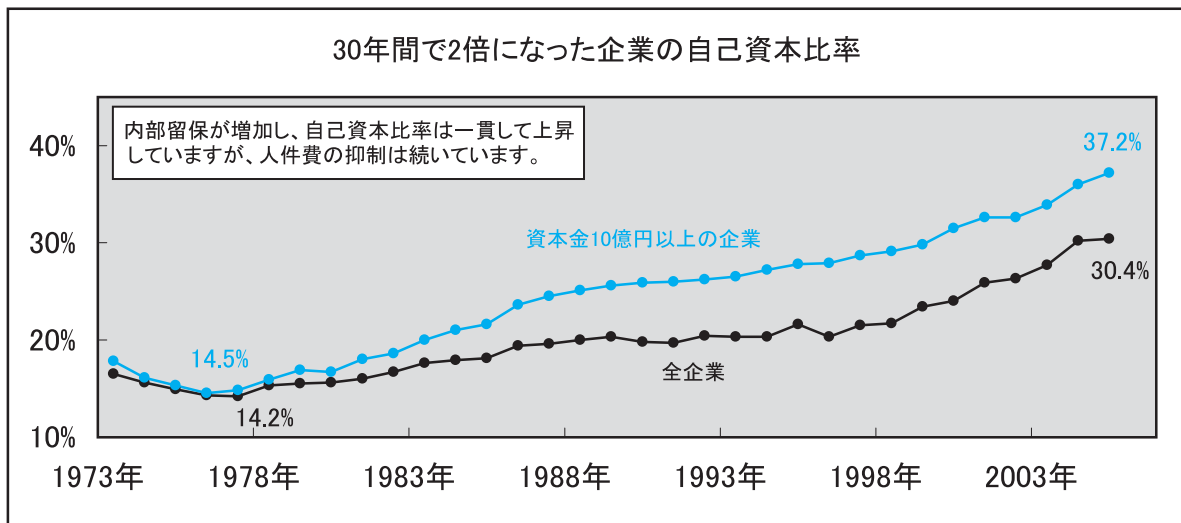
飼育係は60年前の敗戦から、官民協力のもと経済復興を成し遂げた日本経済のことを思い出し、動物園全体のことを考えるのが、自分の仕事だったことに気付きました。ライオンは自由がなくなり不満顔ですが、多くの動物たちに安心と笑顔が戻り、再び活気のある動物園になったということです。 (大石)



出所: 国税庁「平成15年度会社標本調査結果」



出所: 財務省「法人企業統計(年次別調査)」: 資本金1千万円以上対象



出所: 財務省「法人企業統計(4半期別調査)」: 資本金1千万円以上対象